



平成 25 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 取 締 役 社 長 石 黒 文 博
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問い合わせ先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 多 々 良 孝 之
 電 話 番 号 (03)3667-5211 (代表)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計の連結及び個別業績見通しに関するお知らせ

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計) (A)	1,811	△259	△263	△183
当第 2 四半期連結累計期間実績見込み (平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計) (B)	2,113	△200	△155	△172
増減額 (B-A)	301	58	108	11
増減率 (%)	16.6	—	—	—
(参考) 平成 25 年 3 月期実績	4,435	173	111	△147

(2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計) (A)	1,691	△353	△290	△185
当第 2 四半期個別累計期間実績見込み (平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計) (B)	2,014	△259	△177	△180
増減額 (B-A)	323	93	112	4
増減率 (%)	19.1	—	—	—
(参考) 平成 25 年 3 月期実績	4,234	39	155	△86

2. 差異が生じた理由

(1) 連結業績見込み

当第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）においては、日本銀行の黒田新体制下の「量的・質的金融緩和」、別名「異次元金融緩和」が導入されたことから、景気動向に対し明るい兆しが見え始め、大手企業を中心に株価が上昇するなど、幸先の良いスタートとなりました。一方、世界経済は、米国や中国で改善の兆しが見られるものの、シリア問題に端を発した中東情勢の緊迫化が圧迫要因になるなど、先行き不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の出来高は 676,907 枚(前年同期比 34.5%減)及び金融商品取引等の出来高は 1,328,983 枚(前年同期比 143.7%増)となり、受取手数料は 1,921 百万円(前年同期比 15.2%増)、売買損益は 169 百万円の利益(前年同期比 42.3%増)となる見込みであり、営業収益は 2,113 百万円(前年同期比 16.6%増)、経常損失 155 百万円(前年同期は 263 百万円の経常損失)、四半期純損失 172 百万円(前年同期は 183 百万円の四半期純損失)を計上する見込みであります。

(2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、連結業績見込みと概ね同様でありますので、上記連結業績見込みをご参照ください。

以 上